

和歌山だよいい

令和4年 12月号
(2022)



有田みかん (有田市)

冬のフルーツとして思い浮かぶ果物の一つが「みかん」。みかんには、ビタミンCやβ-クリプトキサンチンが含まれており、お肌を美しくしたり、免疫力を高める効果が期待できると言われています。

これから寒さが厳しい季節が訪れます。そんな季節には、こたつで暖まりながら、みかんを食べて、ほっこりしてみたいかがでしょうか。

(写真提供: 公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENTS

- 1 知事メッセージ p. 1
- 2 和歌山県政トピックス p. 2 ~ 8
- 3 お知らせ p. 9 ~ 13
- 4 ふるさと歳時記 p. 14



16年間ありがとうございました

私の和歌山県知事の任期は12月16日までです。県民の皆さんに知事に選んでいただいてからはや16年、その間、それまでの経済産業省をはじめとする官界の経験やブルネイ大使を含む海外の経験を活かし、わき目もふらず県政に全力投球をしてまいりましたが、生まれ故郷のために尽くす機会をいただけたことは、私にとっては本当に幸せなことでした。

仁坂県政は、前知事の逮捕という和歌山県政史上最大の不名誉からの出発でありました。また、近年いささか地盤沈下をしてきた和歌山県の県勢を取り戻し、元気な和歌山を回復するために奮闘してまいりました。

その結果、この16年間で、これまで和歌山県の発展を阻害してきた要因を取り除き、今後の発展の基礎条件の整備を進めることができたと思います。後はこの基礎条件のもとに優秀な和歌山県民が世界中の人々と協力しながら、雄飛する素地は十分にできたと思います。現に各産業界や県民活動のさまざまな分野で明るい積極的な動きが見られるようになってきました。また、「最近は何県に行っても和歌山県人だということを誇れるようになりました。長い間ありがとうございました」という言葉をいただいた時は、嬉しくなりました。

これからは新しい知事のもと、皆さんが力を合わせて明るい未来を切り拓いてくれると信じます。そして、再び和歌山県が県勢を回復し、和歌山県の相対的地位が高まり、皆さんが昔よりも豊かさと幸せを感じられるようになった時、過去を振り返り、「仁坂知事の頃の和歌山は今から考えると底だったんだなあ」と思ってくださいるようになることが私の願いです。

皆さん、この16年間本当にありがとうございました。皆さんのおかげで本当に楽しく、生まれ故郷和歌山のために仕事をさせていただくことができました。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



11/9 記者会見にて

●令和4年度和歌山県名匠表彰者が決定しました

本県では、昭和49年から、県内の伝統ある貴重な工芸品や生活用品の製作等の技術を保持し、地域社会における技術文化の向上と発展に功績のある方々に、名匠表彰をお贈りし、その御功績を顕彰しています。49回目を迎える今年度は、紀州の名産品として非常に長い歴史をもちながら、昭和30年代に途絶えてしまった「紀州松煙墨の製作」を復活させた、堀池雅夫ほりいけまさお氏が受賞されました。

現在、墨と言えば油煙墨や墨汁が一般的ですが、松の煤を原材料に堀池さんが製作する松煙墨は、独特の青味を帯びた黒色とにじみの特徴を持ち、全国の芸術家から愛好される逸品となっています。

松煙墨は、松の煤（松煙）と膠を合わせて作る墨であり、奈良時代には日本で製作されていました。特に紀州松煙墨は、平安時代、熊野詣に訪れた上皇に献上された名墨です。その素材となる松煙の製煤は、山村の貴重な現金収入であり、かつて紀州の山々には多くの「煙屋えんや」がいましたが、製煤業の過酷さや松材の減少、コストの安い鉋油墨の普及により、紀州松煙墨は断絶してしまいました。その「紀州松煙墨の製作」を復活させたのが堀池氏なのです。

堀池氏は、35歳の時に田辺市に移住し、妻の実家の製煤業を継ぎ、油煙煤を製造していましたが、知人から懇願され、松煙墨製作を始めました。古来から松煙は、障子で囲った小部屋に焚窯を設置し、松材を燃やして障子に煤を付着させて採取してきましたが、堀池氏は、障子の代わりに金網を用いつつ、他はすべて自身の調査により復元した伝統的な製煤方法を踏襲し製作することに成功しました。堀池氏は、製煤から松煙墨の製造までの行程を一貫して行う、全国でただ一人の職人なのです。さらに、煤に種々の顔料を加えて膠に練り込み、

鮮やかな色を付けた墨「彩煙墨」を創案するなど、和歌山が誇る紀州松煙墨を未来に残そうと奮闘されており、その功績は多大であります。

県では今後も、このような功績を讃えるとともに、県内に伝わる素晴らしい技術文化を絶やさぬよう、様々な施策に取り組んでいきます。



松煙墨の原材料となる松煙＝松の煤の製造をしている堀池氏



100%自家製の松煙を使用した
純松煙墨・紀州墨

● 「令和4年度和歌山県文化表彰」表彰式を執り行いました

本県では、昭和39年から、本県の文化の向上発展に貢献した個人、団体の方々に和歌山県文化表彰をお贈りしています。59回目を迎える今年度は11月10日に表彰式を執り行いました。

文化の向上発展に特に顕著な業績を示し、和歌山県の誇りに値すると認められる方を表彰する

「文化賞」は、環境学者の武内かずひこ^{たけうち}和彦氏が受賞されました。また、文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である方を表彰する「文化功労賞」は、歌手のTONPEI^{とんべい}氏、音楽家の宮澤敏夫^{みやざわとしお}氏、医学者^{みやにしてるお}の宮西照夫氏が、優れた文化の創造と普及活動を続け、将来一層の活躍が期待



受賞された皆さんと知事（前列）

できる方を表彰する「文化奨励賞」は、グラフィックデザイナーの岩田直樹^{いわたなおき}氏、ヴァイオリン奏者の寺下真理子^{てらしたまりこ}氏、作曲家の冷水乃栄流^{ひやみずのえる}氏が受賞されました。

文化賞を受賞された武内氏は、地域生態学の分野を確立されるとともに、サステナビリティ学を世に先駆けて展開されており、人と自然が共生する社会の実現に向け、世界を主導してこられました。

文化功労賞を受賞されたTONPEI氏は、「歌で和歌山を元気に」を合言葉に様々な舞台で活躍され、本県の音楽文化の振興に尽力してこられました。宮澤氏は、市民参加型クラシック鑑賞の文化を築かれるなど、本県のクラシック音楽振興に尽力されるとともに、交響楽団の再建や各地の音楽祭のプロデュースなど地域文化振興にも貢献されてこられました。宮西氏は、文化とこころの病に着目した調査研究と実践活動に尽力され、文化と社会の向上発展に貢献されてこられました。

文化奨励賞を受賞された岩田氏は、障害を強みに換えた作品が多く、支持を集めており、人と社会を変えるクリエイティブな活動をされています。寺下氏は、高度な演奏技術と華やかさを持ち合わせ、子供達に夢を与える演奏会を開催するなど、子供達が一流の若手奏者の生演奏に触れる貴重な機会を創出されています。冷水氏は、オーケストラや邦楽器のための芸術性の高い作品を発表され、日本最高峰の権威ある賞を受賞されるなど、多岐にわたり活躍されています。

このたび受賞された皆様の御功績を称え、今後さらなる活躍を期待するとともに、皆様の御協力をいただきながら、これからも和歌山県の芸術文化の振興を図っていきます。

● “和みわかやま” 東京レセプション 2022 を開催しました

県観光連盟は、本県の豊かな自然や様々な魅力を広く発信するため、『蘇りの地、わかやま ～癒しのフィールド～』をテーマに、多くのメディア関係者や旅行会社等にご参加いただき、観光プロモーション「“和みわかやま” 東京レセプション 2022」を開催しました。3年ぶりの開催となる本レセプションでは、観光プロモーション説明会やトークセッションなど、コロナ禍における旅行スタイルの変化に応じたプロモーションを展開しました。

第1部の観光プロモーション説明会では、OUTDOOR TRIP 株式会社^{みなみはたよしあき}の南畑義明代表取締役から「二代目キャンプ場オーナーから見たこれからのアウトドア」について、アドベンチャーワールド^{なかおたつこ}の中尾建子副園長から「ジャイアントパンダ日中共同繁殖研究 28年の歩み」について、ご講演をいただきました。南畑代表取締役は、10代半ばから和歌山のアウトドアに関わり、父親からキャンプ場「南紀串本リゾート大島」を8年前に受け継ぎ運営を行っており、2020年から2年連続、日本最大級のキャンプ場検索サイト「なっぷ」にて西日本1位を獲得されています。また、中尾副園長は、1994年に「永明」と「蓉浜」が来日した当初より、ジャイアントパンダの繁殖研究に長年関わり、これまで17頭のパンダの赤ちゃんの誕生を見守られてこられました。お二人からは、これまでの貴重な経験をもとにお話していただきました。



講演を行う南畑代表取締役



ジャイアントパンダについて語る中尾副園長



トークセッションを行うはなさんと知事

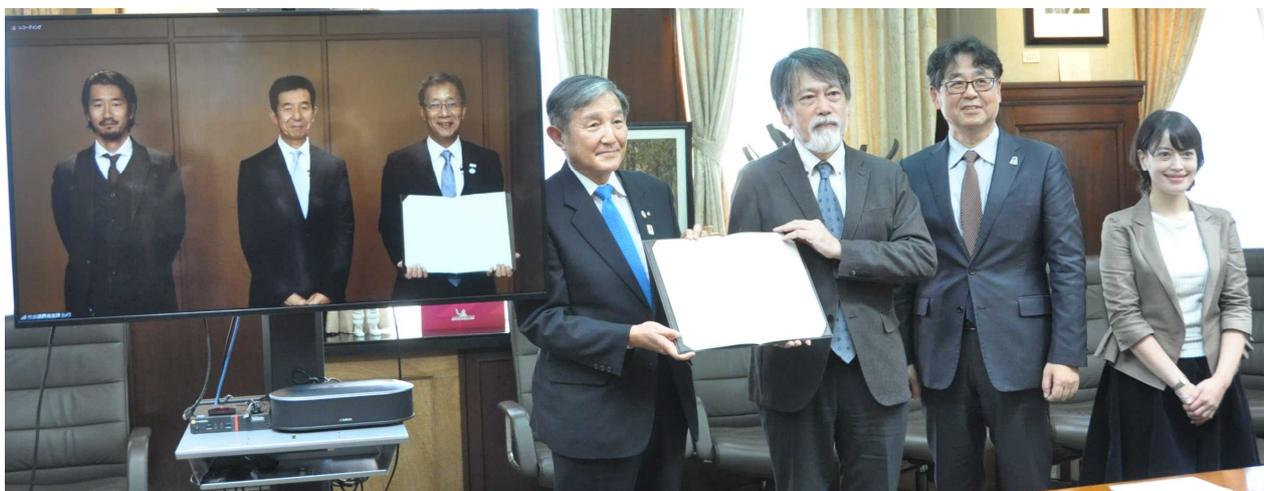
第2部のレセプション（交流会）では、モデルでタレントのはなさんをゲストにお招きし、仁坂知事と「ココロを豊かにするわかやま旅」について、トークセッションを行いました。はなさんは、旅が好きで、高野山や白浜に訪れたことがあり、趣味の仏像鑑賞や和歌山の食を楽しまれたなど、わかやま旅の思い出を語ってくれました。また、非常にパンダが好きということで、アドベンチャーワールドでパンダに会ってきたというエピソードやパンダの魅力などについてのお話も聞くことができました。

本県は、自然に触れ合うことができるフィールドも多く、疲れた身体や心を癒すことができる“蘇りの地”であり、ココロを豊かにするヒントがたくさんあります。皆さんの心が豊かになることを願い、今後もこの魅力を発信していきます。

●東京大学と連携協定を締結しました

このたび、県と国立大学法人東京大学は、県が抱える地域課題の解決や活力ある個性豊かな地域社会づくりを目指し、学術研究の推進及び人材の交流育成等において連携・協力を行う包括連携協定を締結しました。

11月9日に実施した協定締結式には、東京大学の藤井輝夫総長と津田敦執行役・副学長、川添善行生産技術研究所准教授がオンラインで、秋山聡人文社会系研究科長、神崎亮平先端科学技術研究センター教授、太田泉フロランス次世代人文学開発センター助教が県庁を訪れ、協定書を交わしました。



協定書を手にする東京大学 藤井総長（オンラインでの参加）、仁坂知事、秋山人文社会系研究科長

これまでも、県と東京大学先端科学技術研究センターが平成31年に連携協定を締結し、最先端の研究者による集中講義や相互交流の機会を提供する「和歌山スーパー未来塾」や研究者や高野山の高僧など幅広い分野の方が集まり知の競演を行う「高野山会議」、コロナ抗体検査等の実施など多岐にわたり連携してきました。また、データ利活用分野では、「和歌山県における空き家分布の推定」についての共同研究を行っており、その研究が総務省主催の「Data StaRt Award ～第7回地方公共団体における統計データ利活用表彰～」において特別賞を受賞するなど、様々な実績を残しているところです。

このような実績を踏まえ、このたび東京大学全学との包括連携協定を締結し、これまでの取組はもちろんのこと、新しい取組を始めるなど連携・協力の幅をさらに広げていくこととなりました。具体的には、県を中心とした周辺地域の文化・歴史・自然の究明や、現在および近未来の課題解決に向けた学術研究の推進、それらに関するシンポジウム等による研究成果の発信に取り組みます。また、東京大学の学部生・大学院生がグループ単位で地域から示された課題に対し、解決への道筋提案を行うフィールドスタディを県内で実施する予定となっています。

●消費者シンポジウムを開催しました

多様化、複雑化してきている消費者トラブルについて、消費者の現状や今後の課題等を知り、一人一人が「自ら考え自ら行動する」自立した消費者となるための情報を発信するシンポジウム「消費でつくる和歌山の新しい未来～成年年齢引下げ、孤独・孤立対策、SDGs～」を10月30日に開催し、会場やオンラインで多くの方にご参加いただきました。

シンポジウムでは、前消費者庁長官の伊藤明子^{いとうあきこ}消費者庁顧問に、「消費でつくる未来～成年年齢引下げ、孤独・孤立対策、SDGs～」をテーマとした基調講演を行っていただきました。



基調講演を行う伊藤明子さん

伊藤顧問は、消費者庁において、コロナ禍での悪質事業者対策のほか、デジタル対応、SDGs など新しい消費者行政の取組も行われており、本シンポジウムでは、様々な観点からご講演をいただきました。続いて、仁坂知事が、平成12年に経済企画庁長官官房企画課長として消費者契約法の制定に携わった経験や制定時の思いなどを「消費者契約法の制定について」と題し、講演を行いました。

パネルディスカッションでは、和歌山大学大学院教育学研究科の岡崎裕^{おかざきゆうたか}教授にコーディネーターを務めていただき、NPO 法人消費者サポートネット和歌山の赤井カホル^{あかい}理事長、株式会社オークワの大桑弘嗣^{おおくわひろつぐ}代表取締役社長、花王株式



「消費者を取り巻く現状とこれからの課題」について、ディスカッションするコーディネーターとパネリストの皆さん

会社の細川泰徳^{ほそかわやすのり}花王エコラボミュージアム館長、先の伊藤顧問をパネリストとして、「消費者を取り巻く現状とこれからの課題」について、それぞれの立場で、ディスカッションしていただきました。

県では今後も、皆さんが自分で考え騙されない行動ができるよう、様々な情報を発信していくとともに、県消費生活センターにおいて、消費生活に関する苦情や相談を受け解決のお手伝いをするなど自立した消費者の育成や消費者を支える地域づくり等を進めてまいります。

●世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサートを開催しました

本県では、世界遺産に登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力を発信するため、世界遺産の地を舞台に、毎年コンサートを開催しています。今年度は、来年「弘法大師空海御誕生 1250 年」を迎える高野山において、平成 28 年に史上初の女性ソロ尺八奏者としてメジャーデビューし、国内外で演奏活動を行っている橋本市出身の辻本好美さんつじもとよしみをメインゲストに迎え、3 部構成で開催しました。

第 1 部では、高野山小学校児童の皆さんと「GO GO MY LIFE 2034 IN 高野山」のイメージソングを手掛けたウクレレ奏者である Lina リナ Lina さんが共演し、未来への希望にあふれた歌声がウクレレ演奏とともに披露されました。

第 2 部では、総本山金剛峯寺 高野山執務公室長の藪邦彦さんやぶほうげんと辻本好美さんとのトークセッションが行われ、高野山の魅力などについてのお話をいただきました。

ラストを飾る第 3 部は、辻本好美さんによる尺八コンサートで、ギターやピアノ、パーカッションとの共演のほか、高野山高等学校の生徒による声明とのセッションも行われました。

高野山の幽玄な雰囲気のもと、響きわたる尺八の音色や児童生徒の歌声などは大変すばらしく、高野山の魅力をより一層、深めてくれました。

令和 6 年には、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が登録 20 周年を迎えます。今後も引き続き、世界遺産の魅力を伝える取組を行っていきます。



第 3 部 辻本さんと高野山高等学校の生徒の皆さん等との共演



第 2 部 藪さんと辻本さんのトークセッション



第 1 部 高野山小学校児童の皆さんと Lina Lina さんの共演

●わかやまジビエフェスタ 2022-2023 開催！

本県は、四季を通して、深く緑豊かな森、谷間を流れる清流など、多くの自然に囲まれています。こうした豊かな山野で育まれた「わかやまジビエ」はギュッと身が引き締まっており、噛むごとにじんわりと深い旨味が広がります。まさに、「山のごちそう」と呼ぶのに相応しい食材です。

この「わかやまジビエ」の美味しさを多くの方にお伝えするため、毎年12月から2月までの期間、わかやまジビエフェスタを開催しています。今回は、過去最多の県内飲食店・宿泊施設93店舗が参加しています。

本県では全国に先駆けて「わかやまジビエ肉質等級制度」を導入し、認証施設で解体された肉を、皮下脂肪の厚さや肉の締まり・きめ等を基準に、イノシシは3等級、シカは2等級に格付けするなど、皆様に安心して食べていただけるような取組も行っています。

シェフが腕をふるった山の恵みを、この機会に是非お楽しみください。



【わかやまジビエフェスタ】

◆開催期間：令和4年12月1日(木)～令和5年2月28日(火)

※店舗により提供期間は異なります。

◆開催場所：和歌山県内料理店(飲食店、ホテル等) 93店舗

◆専用HP：<https://www.wakayama-gibier.com>

◆プレゼントキャンペーンについて

期間中に各参加店舗で「ジビエメ料理」を食べて、レシートや領収書を撮影し、WEBで応募してください。

レシートの枚数に応じて抽選で、ペア宿泊券(2組様)や5,000円分の「お食事券」(20名様)が当たります。



●和歌山県産みかん果汁を使用した商品が発売されています

みかん生産量全国1位を誇る和歌山県。その和歌山県産みかん果汁を使用した商品が期間限定で発売されています。濃縮した甘みと爽やかな味わいが特長の発泡酒「和歌山みかんサワー」と、有田みかんの豊かな香りとコクのある甘さをりんご果汁とオレンジ果汁のバランスで引き立て、こたつで食べるみかんの味わいが特徴の「野菜生活100 有田みかんミックス」。この機会に是非、ご賞味ください。

【和歌山みかんサワー】

- ◆価格例：118円前後（税込）／350ml 1缶
- ◆品目：リキュール（発泡酒）
- ◆販売店舗：日本全国のイオングループ約2,000店舗（「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「ダイエー」「イオンスーパーセンター」など）
- ◆商品特徴：日本一のみかん産地である和歌山県産にこだわり、ビタミンCなど栄養成分を豊富に含む、ギュッと濃縮した甘みが特長の温州みかんを使用したご当地サワーです。マスターソムリエ高野豊氏の監修により昨年ご好評いただいた人工甘味料不使用の自然な味わいはそのままに、使用する果汁量を昨年より増やし、より爽やかなみかんの味わいをお楽しみいただけます。



（パッケージデザイン）

【野菜生活100 有田みかんミックス】

- ◆価格例：110円前後（税込）／195ml 紙パック
- ◆販売期間：令和4年11月22日～令和5年2月上旬頃までの期間限定
※在庫がなくなり次第終了
- ◆販売地域：全国
- ◆商品特徴：和歌山県産の有田みかんを使用した野菜・果実100%ミックスジュースです。パッケージ側面には、和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」が日本農業遺産に登録された「有田みかんシステム」を紹介しています。



（パッケージ正面デザイン）

●和歌山キャンプの魅力を紹介するポータルサイト

「わかやま“ほんまもん”キャンプ」を開設しました！！

和歌山には、山・川・海の雄大な自然と温暖な気候で1年中アウトドアを楽しめるキャンプ場やグランピング施設などがたくさんあり、そこでは、“ほんまもん”のアウトドアを体験することができます。このような和歌山キャンプの魅力を発信するサイト「わかやま“ほんまもん”キャンプ」を開設しました。このサイトでは、県内のキャンプ場検索からオンライン予約まで可能となっています。「山・川エリア」「海エリア」「グランピング」など3つのテーマに分けて紹介しており、地域やアクティビティ、施設設備等の項目で絞り込み、検索することができます。また、周辺でキャンプ飯の材料を調達できる施設や温泉施設等を紹介するとともに、アクティビティの検索・予約ができるポータルサイト「わかやま遊び」とも連動しています。

「わかやま ほんまもん きゃんぷ」で検索し、自分にあった“ほんまもん”キャンプを見つけてみてください。



サイト QRコード

わかやま ほんまもん キャンプ

検索

URL : <https://wakayama-camp.jp>

< 関連サイト >

「わかやま遊び」

アクティビティや果物狩りなど和歌山の自然を満喫できる「ほんまもんの遊び」が満載のポータルサイト

(URL:<https://bit.ly/3zCmSuS>)

●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）のご案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージをいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトをご利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品を是非ご堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら



ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 棚野、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

- ①新型コロナウイルス感染症対策
- ②生涯スポーツ・文化の振興
- ③子供たちの教育環境の充実
- ④がん対策の充実
- ⑤犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援
- ⑥世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用
- ⑦南紀熊野ジオパークの推進
- ⑧地元企業への就職を促進する奨学金返還支援
- ⑨学校図書館や県立図書館の蔵書の充実
- ⑩わかやまの美しい海づくり
- ⑪わかやまの文化財の保護
- ⑫大切なふるさとの森を守り育てる
- ⑬わかやまのナショナル・トラスト
- ⑭わかやまの農林水産業の振興



皆さまからいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

●寄附金控除の手続きについて（ワンストップ特例申請のご案内）

地方公共団体への寄附（ふるさと納税）については、税制上の優遇措置があります。寄附金額のうち、自己負担額の2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税（復興特別所得税を含む）及び個人住民税から全額が控除されます。※ワンストップ特例申請の場合は、所得税の軽減相当額を含め、個人住民税からまとめて軽減を受けることになります。

寄附金控除を受けるには、所得税の確定申告又はふるさと納税ワンストップ特例制度の申請が必要です。

この度、和歌山県では、ワンストップ特例申請を完全オンラインで行えるサービスを開始し、手続きがより簡単・便利になりました！



マイナンバーカードをお持ちの方は、紙のワンストップ特例申請書・確認書類の提出は不要となり、「自治体マイページ」から、即座に申請を完結させることが可能です。
 ※ 申請にはデジタル庁提供のマイナポータルアプリが必要です。
 ※ 自治体マイページとは、ふるさと和歌山応援寄附に寄附したふるさと納税に関する情報を一元管理できる寄附者個人の専用ページです。

（自治体マイページは、株式会社シフトセブンコンサルティングが提供するサービスです。）

寄附金控除の手続きや、オンラインワンストップ特例の詳細については、「ふるさと和歌山応援サイト」内「寄附金税制について」のページをご確認ください。



●和歌山の食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の御案内

県では、県産品を生産販売する県内事業者の商品販売ページを紹介するインターネットショッピングモール「おいしく食べて和歌山モール」を開設しています。和歌山の特産品である果物や果実加工品、しらす・干物などの水産加工品、菓子類など様々な商品をご紹介します。

「おいしく食べて和歌山モール」を通じ“食の宝庫和歌山”の魅力を感じていただくとともに、和歌山県の商品を購入される際は、ぜひご活用ください。



【和歌山の お歳暮&冬ギフト 特集】

11月10日からお歳暮&冬ギフト特集ページを掲載しております。大切なあの方に贈る「贅沢な逸品」和歌山を味わう「ふるさとの味」「ゆっくり愉しむお酒」をテーマに商品をご紹介します。

また各商品について
のし紙対応の有無も揭示
しています。

お歳暮&冬ギフトページ
QRコード⇒





Specialities From
Wakayama

おいしく食べて 和歌山モール

「おいしく食べて和歌山モール」では、
和歌山の魅力ある“食”情報を
お届けします!



サイト QR コード

<おいしく食べて和歌山モールURL>
<https://oishii-wakayama.com/>

イベント情報（1月上旬～1月中下旬）

***新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。**

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
1月8日	七草粥まつり	道の駅 青州の里 (紀の川市)	青州の里 0736-75-6008
1月上旬	伊作田稲荷神社 例大祭	伊作田稲荷神社 (田辺市)	田辺観光協会 0739-26-9929
1月中旬	天野の御田祭	丹生都比売神社 (かつらぎ町)	丹生都比売神社 0736-26-0102
1月中旬	仙人風呂 「新春かるた大会」	川湯温泉 (田辺市)	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
1月21日	本州最南端の火祭り・ 望楼の芝焼き	串本町・潮岬	串本町観光協会 0735-62-3171

自然・風物情報（1月上旬～1月中下旬）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
1月上旬	新春初泳ぎ	田辺扇ヶ浜海水浴場 (田辺市)	田辺観光協会 0739-26-9929
1月中旬	ポンカンの収穫ピーク	重畳山地区 (串本町)	JA 紀南 0739-23-3450
1月中旬	ジャンボ張り子の登場	川湯温泉 (田辺市)	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
1月下旬	スイセン見頃	白崎海岸 (由良町) 檜野埼灯台周辺 (串本町)	由良町産業建設課 0738-65-1203 串本町観光協会 0735-62-3171、

～編集後記～

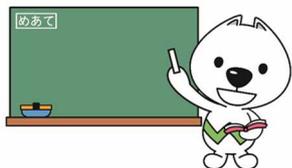
だんだんと日暮れが早くなり、なんともいえないさみしさが止まらない今日この頃です。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

小欄では、いつも思ったことを書かせていただき、みなさまの広いお心でご容赦いただいております。そんな時にふと思い出したエピソード、今回は50年くらい前のお話をさせていただきます。小学校に入学した頃の私は、とてもおとなしく、手をあげて自分の意見を発表するなんてできませんでした。ある日、先生が教室の黒板の上に大きな紙を貼ってくださいました。「きょうしつは、まちがえるところだ」そして、先生は、「まちがえてもいいから自分が正しいと思うことを発表しなさい」「教室のみんなは、それを笑ったりからかったりしてはいけません」と。教室では、活発な意見が飛び交うようになり、内気な女の子は、いつの間にか自分の考えを伝えることができるようになりました。

みなさま、おそらく一度も間違えたことのない方はいないと思います。私は、人は間違えたりつまずいたりしながら成長していくと信じています。だから、間違えたことを決して責めたりはしません。ここにも冒頭の先生の教えが息づいているのかもしれない。また、自分の間違いについても、深く落ち込んだりはせず、むしろ次に活かそうと心がけています。そういえば、小学生のころから間違えた所を書き留めた「つぎはまちがえないノート」なるものを作っていました。間違いに自分なりのコメントやツッコミを書き込むことにより印象に残り、同じ間違いをしなくなります。お勉強だけでなく、仕事や子育て、日常生活でも応用でき、結構楽しく、役にも立つのでお勧めです。半世紀の時を経て内気な女の子は、元気な和歌山の今日、そして未来を想い、時にはつまずいたりしながら前を向いて歩いて、というよりは暴走しています。

今月も昔話におつきあいいただきありがとうございました。冷たい季節が足早にやってきています。みなさま、風邪など召しませぬよう、お身体を大切にお過ごしください。



知事室 秘書課長 西山 雅美



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、是非ご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等をお願いします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2022年（令和4年）12月 NO.175

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026